



博物館イベント

各イベントは電子申請又は下記に電話でお申し込みください。参加費は無料で、定員になり次第締め切ります。各イベントの詳細は市ホームページ(下記二次元コード)をご確認ください。申込開始日は全て10月1日(土)です。

科学実験にチャレンジ!

10月のチャレンジテーマは、「手作り紙飛行機をつくらう!」です。

10月15日(土) 午前10時~正午

対象 アオーゼ3階 体験学習室2

小・中学生(小学生は保護者同伴)

講師 ひた少年少女発明クラブ

募集数 20人(先着順)

日田の自然探検隊

秋の釈迦岳で、山頂からの景色を眺めて、豊かな自然を探検しよう!

10月16日(日) 午前9時~午後3時

集合場所

アオーゼ3階 体験学習室2

※釈迦岳への移動は、バスで行います。

対象

小・中学生とその家族(小学生は保護者同伴)

講師 郷土日田の自然調査会

募集数 15人(先着順)

準備物

メモ用紙、筆記用具、弁当、水筒

服装

帽子、長袖シャツ、長ズボン、運動靴

秋の自然観察会
秋が深まる釈迦岳の山頂周辺を散策し、美しい自然を満喫しましょう!

日田市ビジネスサポートセンターに電話で申込み
※定員に達し次第、締め切ります。

日田市ビジネスサポートセンター

5520

商工労働課地域産業支援係

28239 (市役所3階)

「ひたのミュージカルワーク ショップ挑戦編」参加者募集

「演じる」「歌う」「踊る」が好きな人たちで、楽しみながら作品を作ってみませんか。

とき

10月22日(土)・11月5日(土)・12月10日(土)・24日(土)・令和5年1月14日(土)・21日(土)

子どもコース(中学生以下)

午後2時30分~5時30分

おとなコース(中学生以上)

10月22日(土) 午前9時~午後3時

集合場所

アオーゼ駐車場

※釈迦岳への移動は、バスで行います。

対象 一般

講師 郷土日田の自然調査会

募集数 20人(先着順)

準備物

メモ用紙、筆記用具、弁当、水筒

服装

帽子、長袖シャツ、長ズボン、運動靴

第13回光岡地区人権ふるさと祭り

第13回光岡地区人権ふるさと祭りでは、人権講演会(コンサート)やステージイベント等を行います。是非、お越しください。

とき・ところ

10月23日(日)

午前9時30分~午後1時

北友田3丁目地区集会所及び周辺会場

北友田3丁目地区集会所 6920

フードドライブを開催します

家庭で余っている食品を持ち寄り、必要としている人に寄付する活動「フードドライブ」を開催します。ご家庭に眠っている余剰食品があれば、是非お持ち寄りください。

とき

10月29日(土) 午前9時~正午

コープ中央店跡(日田市民生協)

■寄付できない食品
消費・賞味期限切れのもの(期限が近いもの)、生鮮食品等

※詳細は、市ホームページ(左記二次元コード)をご覧ください。

い合わせください。

日田市社会福祉協議会

7026

環境課生活環境係

8208 (市役所2階)

大分県・西部地区等総合防災訓練

10月8日(土)

午前10時~

三芳地区(三芳小淵町玖珠川河川敷)

警察、消防、自衛隊などの防災関係機関と大分県建設業協会日田支部などの民間団体に参加する「人命救助訓練」等を行います。

桂林地地区

(桂林公民館、中央公民館、中城体育館) 大分県エルピーガス協会、日田赤十字奉仕団などの団体による炊き出し訓練、企業による災害時のインフラ応急対策の展示、救援物資の展示を行います。

午前11時30分頃

桂林公民館

カレー、ゆでたまご等の炊き出し食を配布します(先着200食)。

桂林地地区

桂林公民館、中央公民館、中城体育館)

大分県エルピーガス協会、日田赤十字奉仕団などの団体による炊き出し訓練、企業による災害時のインフラ応急対策の展示、救援物資の展示を行います。

午前11時30分頃

桂林公民館

カレー、ゆでたまご等の炊き出し食を配布します(先着200食)。

桂林地地区

桂林公民館、中央公民館、中城体育館)

大分県エルピーガス協会、日田赤十字奉仕団などの団体による炊き出し訓練、企業による災害時のインフラ応急対策の展示、救援物資の展示を行います。

午前11時30分頃

桂林公民館

「おおいした働き方改革」

トップセミナー参加者募集

多様な人材を生かして企業が持続的に発展するためには、経営者がリーダーシップを発揮し、労働者の「働き方改革」を

進めることが必要です。今年度は、企業経営者、人事労務担当者を対象に男性の育児休業取得促進をテーマとしたセミナーを開催します。

とき 10月11日(火)

午後3時30分~5時10分

ところ

ホテル日航大分オアシスタワー5階

孔雀の間(大分市)

講師

(株)サカタ製作所

代表取締役社長 坂田匠氏

募集数 100人

参加費 無料

申込方法

名前、事業所名、連絡先を記入の上、ファックス又はメールで申込み

申込先

大分県雇用労働政策課

097-506-13327

097-506-1756

04310@pref.or.jp

商工労働課企業立地・雇用労働係

82339 (市役所3階)

経営力向上セミナー

若手人材の活用

市内の人材育成に成功した企業の実例を交えながら、若手人材の育成・活用に関するセミナーを無料で開催します。

とき 10月15日(土)

午後1時30分~4時

ところ

日田玖珠地域産業振興センター2階

商談会議室

募集数

8人程度(1事業者につき1人)

申込方法

タウン情報

無料障害年金相談会

とき 10月27日(木)

午後1時30分~4時

ところ ウェルピアー階 相談室

相談員 社会保険労務士、年金アドバイザー 島津正一氏

※事前予約必要。

日田市社会福祉協議会

7026

大分県立日田高等技術専門学校

令和4年度第3回オープンキャンパス

とき 10月23日(日)

午前10時~(受付)

※予約不要で参加料も無料です。

大分県立日田高等技術専門学校

朝日ヶ丘576-110

0789

人権コラム 心、豊かに



こころちゃん

外してみよう心の“色眼鏡”

10月1日は「メガネの日」。

10月1日を“1001”と表記すると、両端の“1”が「メガネのツル」で、内側の“0”が「レンズ」に見立てられ、メガネの形を表しているとして「メガネの日」が制定されました。

自分自身も含め、家族や友人、職場の同僚など、多くの人がメガネを着用しており、メガネがないと生活に支障が出るという人もいます。しかし、メガネをかけているからといって、相手への接し方が変わってしまうことはありません。

ところが、それが“メガネ”から“車椅子”に変わるとどうでしょうか。

メガネと車椅子のどちらも「それがなければ生活に支障が出てしまう」という点は共通していますが、“車椅子”を利用している人を見ると、「何かしてあげないといけないのか」、「どう接していいかわからない」などと考えてしまう人がいるようです。

では、なぜメガネと車椅子で見方が変わってしまうのでしょうか。周囲に車椅子を利用し生活している人をあまり見掛けない(見慣れていない)ことが要因の一つとなり、「障がい者」というフィルターを通して見ることで、「何か“してあげないといけない”」という先入観を持ってしまわないでしょうか。

車椅子に限らず、白杖や補聴器などを利用し、自立した日常生活を送っている人に対する周囲の手助けが必要な場面は、数多くあると思いますが、「何でもしてあげないといけない」ということではありません。どんな手助けが必要なのか、コミュニケーションを取りながら接することを心掛けていけば、自然と障がいに対する“色眼鏡”は外れていくのではないのでしょうか。

人権啓発センター

8017 (市役所別館1階)